平和をまもり真実をつらぬく民主教育の確立をめざして

2026合同教育研究全道集会

10/31

全体講演 13:00〜

テーマ別交流会 16:00〜

テーマ別交流会
10/31 16:00〜17:30

先生が足りない！

いわゆる「教員不足問題」を、志願者減少や早期離職、「学校ブラック」論だけで捉えてよいのか。教員が安心して、学校・地域の教育について発言できる環境とは何か。教員の市民的自由や権利、同僚性やゆとりの保障を手がかりに、教育研究・実践と運動の課題を語り合います。

私たちの教科書問題

新学期の本屋の光景　えっ！教科書にはそう書いてないのにどうして「準拠」なんですか。「道徳」の「聖地」に札幌がなるってはなしは・・・ 小・中・高校教科社会科教科書は「がけっぷち」なのか。「採択」のためにみんなの意見を出そう！！保護者・地域住民とともに

たまごカフェ 17:45〜19:00

学校現場で奮闘する青年教職員と教員志望の学生が、若者なりに教育を語り合う交流会です。経験がないからこそ感じる違和感や疑問、日々の大変さや学校に対する率直な思いを熱く語り合いましょう。

子どもの権利 わたしの一歩

子どもの声と学校・地域での小さな実践を聴きあうワークショップ形式の交流会です。子どもの声を聴き対話を重ねることを通して、人権の視点を学校や生活に拡げるデザインを考えます。「私」が今いる場所で、ワクワクしながらできる「権利の一歩」を見つけます。

アイヌと和人

「近現代のアイヌ・和人関係史」講演会
新井かおり さん
（北大アイヌ・先住民研究センター GRID 学術研究員）
アイヌについて誰が、どのような立場から語ってきたのかという視点から考えます。とくに、戦後のアイヌ研究や社会運動における和人側の語りと、アイヌ自身の語りとの関係をたどります。講演後に意見交流します。

11/1

分科会 ハイブリッド 9:00〜

11/7・8

分科会 オンライン 9:00〜

会場
北海学園大学 5号館6階

全体講演

「不断の努力」とは、歯みがきするように社会を考えること
〜民主主義、原発事故、そして憲法〜

おしどり マコ&ケン さん



〈プロフィール〉
（社）漫才協会会員。（社）落語協会会員。（社）日本保健物理学会会員
東京電力福島第一原子力発電所事故(東日本大震災)後、随時行われている東京電力の記者会見、様々な省庁、地方自治体の会見、議会・検討会・学会・シンポジウムを取材。 特に東京電力会見の参加回数は14年で1600回を越える。 また現地にも頻繁に足を運び取材し、その模様を様々な媒体で公開している。 ドイツでの国際会議などにも2014年から2019年まで毎年招聘され、 ヨーロッパの大学などで取材報告をしていた。（コロナ禍で終了、その後はオンラインに） 2016年「平和・協同ジャーナリスト基金」奨励賞受賞。 また寄席芸人として、上野鈴本演芸場、浅草演芸ホール、新宿末廣亭、池袋演芸場の寄席のどこかに ほぼ毎日出演している。

参加申込

分科会・テーマ別交流会には事前のお申込みが必要です。右のフォームからご登録ください。参加無料です。

レポートについて

日々の教育実践や子どもの様子などA４用紙１枚程度の簡単なレポートでも構いません。是非レポートを書いて分科会にご参加ください。
なお、レポート参加には事前のエントリーおよび原稿の提出が必要です。

《エントリー締切》　10月29日〔木〕
ハイブリッド分科会は10月23日〔金〕

《原稿提出締切》　11月　3日〔火〕
ハイブリッド分科会は10月27日〔火〕

《申込締切》
10月28日〔水〕
※テーマ別交流会の詳細や分科会の研究課題、レポートの書き方の注意点はホームページをご覧下さい。

会場案内

北海学園大学
豊平キャンパス
札幌市豊平区旭町４丁目1-40



地下鉄東豊線
「学園前」駅
３番出入口直結
※駐車場はございません。

【主催】2026年合同教育研究全道集会実行委員会
事務局：TEL ０１１－２３１－０８１６〔道高教組〕　Mail　zendogoken@gmail.com
ホームページ：http://goken-hokkaido.jp/wp/　「全道合研」で検索！

2026全道合研
分科会の紹介

11/1(日) 分科会(ハイブリッド)

※オンライン参加もできます

分科会４　数学教育
13:00〜17:00
市立札幌大通高校

「数学は本当におもしろいんだなという気持ちになる授業をするにはどうしたらよいか」について自由な雰囲気で話し合い、ちょっとした工夫を持ち寄って、見晴らしのよい数学と数学教育の世界を味わいましょう。

分科会７　書写・書教育
9:00〜12:00
高等学校教職員センター

小学生の毛筆指導から高校生の作品展示まで、幅広い参加者ニーズに応える分科会を目指しています。

分科会９　技術・職業と進路指導
9:00〜12:00
高等学校教職員センター

各教科・科目の専門性を活かし、地域と連携した多くの実践や、進路指導、労働問題などの実践を積み上げてきました。身近な問題などを中心に数多くの実践を持ち帰り、学び合いましょう。

分科会20　障害児・障害者の教育と福祉
10:00〜16:00
教育文化会館ほか

本分科会では学齢期、青年期から高齢期まで、当事者や家族のことを含めた多岐に渡る内容について、参加者から寄せられたレポートを通して討議を行い、研究課題を深めていきます。各生活年齢や発達段階のつながりの視点を大切に、大いに語り合いましょう。

分科会24　不登校・高校中退・ひきこもり
10:00〜16:00
高等学校教職員センター

不登校の子どもは12年連続で増え続けています。生活に困窮する世帯も増えており、ますます不登校の子どもやひきこもりの青年が安心して成長できる居場所が求められます。教育行政のあり方を検討し、学校現場、親の会、支援団体のとりくみを語り合います。

11/7(土) 分科会(オンライン)　9:00〜12:00

（分科会１・３は16時まで）

分科会１　国語教育

ことばを「情報」として操作するだけ。文学作品も読まない、作文も書かない－最近の流行のこんな授業は国語教育ではない－と怒っているみなさん！本当の意味で生きる糧となる国語教育を参加者みんなでつくりあげてみませんか？(レポートには教材の原文添付を)

分科会２　外国語教育

「グローバル人材」「コミュニケーション能力」「小学校での教科化」「大学入試改革」。現場を揺るがしているこうした教育政策のキーワードをもとに、真の外国語教育の目的を確かめながら、子どもの明るい未来につながる授業づくりを語り合いましょう。

分科会３　社会科教育

本分科会は、社会科・公民科・地歴科教育実践の発表・交流の場です。人権・平和・民主主義の実現を目指し、持続可能な社会の担い手を育てるために、上記の教科・科目を中心に、多様な教育実践をもちより、共有・維持・発展につとめる機会としましょう。

分科会５　理科・環境教育

自然科学・技術は，すべての人々に幸福をもたらすべきものです。しかし，環境問題，原発と廃棄物など現実の問題は複雑です。道民が自分の頭で考えて未来を切り開いていくためには，自然科学や環境科学の基礎を豊かに学ふことのできる教育が必要です。

分科会６　美術教育

美術教育は豊かな人間性を育むと共に、多様な価値観や、創造性を他者と共有し相互に認め合える教科です。学力のあり方が変わろうとしている中、授業や特別活動を通じ、子どもたちとの関わりについて語り合います。

分科会８　音楽教育

音楽は、人が豊かに生きていくために欠かすことのできない文化です。音楽の授業は、子どもと教師が教材を真ん中にして文化を育む場です。ささやかでも、普段着の実践を持ち寄り、語り、歌い、学び合いましょう。授業等で録音・録画した物を持ち寄ります。

分科会22　平和・憲法と教育

戦後８０年を経過し、戦争体験・被爆体験が過去のものになる今、平和の尊さと、平和を実現するための憲法の存在意義などを如何に次世代に引き継ぐのか。積み重ねてきた理論だけでなく、新しいとりくみ・実践を交流しましょう。
※人権・民族と教育分散会は休止します。

11/8(日) 分科会(オンライン)　9:00〜12:00

分科会10　家庭科教育

生命と生活の再生産にかかわる学習を担う家庭科は、子どもが直面する生活の困難にどのように迫り、何を提起していくべきなのでしょうか。現在と将来にわたる生活の主人公を育てるため、大いに意見交換しましょう。

分科会12　生活・総合学習

「何を学ぶか」「なぜ学ばせるか」という視点からの授業づくりが、総合学習・生活科の実践を豊かにしていく報告が近年増えています。「深い学び」を実現する生活・総合実践について語り合いましょう。

分科会14　学校と家庭の生活指導

子どもたちの声を聞き、子どもたちを大切にする学級づくり、授業づくりなどの実践を交流します。学校を息苦しくさせるゼロトレランス、学校スタンダードなどの一斉指導、拡がる格差と貧困。いま、必要な生活指導、子ども支援は何かを討論します。

分科会11　保健・体育教育

子どもの健康・発達を語り合い、いかに子どもの命や身体を守り育てていくのか交流しましょう。また、すべての子どもに、食・健康・運動・文化の主人公として相応しい力を保障する教育を考えましょう。学校保健の現状と実践的課題を意見交換しましょう。

分科会13　道徳教育

特別の教科「道徳」が小学校で始まり８年目。他教科や学校行事と照らし合わせ、できるだけ子どもたちの実態に合うように意識して授業が行われている学校もあれば、計画に則り粛々と授業を進める学校もあります。子どもたちのための道徳を一緒に考えましょう。

分科会15　教育条件確立の運動

ゆきとどいた教育の実現には、「人・物・予算」の裏付け、すなわち教育条件整備が不可欠です。教育予算や教育費負担、学校統廃合、教職員定数増と労働条件改善など、切実な課題について学び、語り合いましょう。

11/8(日) 分科会(オンライン)　13:00〜16:00

分科会16　教育課程・学校づくり

子どもを中心とした教育課程を、教職員・子ども・保護者・地域が力をあわせてつくっていくために、お互いの実践や思いを交流しましょう。また、様々な課題をかかえる子ども達の実態や教育課程についても、じっくり語り合いましょう。

分科会17　地域づくりと子育て　教育・文化・スポーツ

現代社会にみる生活・学力格差、貧困・差別等の社会問題を解決することは、学校だけ、家庭の中だけでは困難です。「子どもの生きづらさ」に正面から向き合う子育て・教育・文化・スポーツと子どもが育つ地域づくり、それとともにある大人の学びを考えます。

分科会19　国民のための大学づくり

政府は「高大接続改革」「高等教育無償化」により、高校教育、大学入試、そして大学のあり方を劇的に変えようとしています。統制・競争・分断の政策を乗り越え、自由な学問と青年期の発達保障のあるべき姿を探ります。

分科会23　子ども・青年の発達と教育

子どもや青年の「発達援助」に携わる大人として、何ができるかを共に考え語り合う分科会です。保育、小中学校、高等学校、フリースクールなど、乳幼児期から青年期までの長いスパンで「人の発達」を見通し、子ども理解をより豊かなものにしていきましょう。